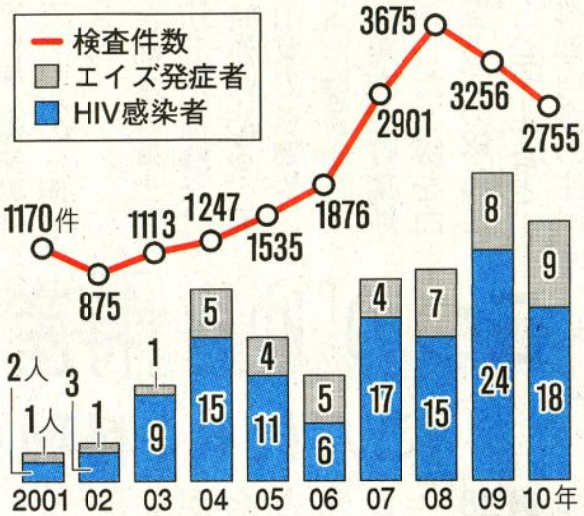


県内のエイズ発症者と HIV感染者、検査件数の推移



県によると、10年に感染段階で見つかったのは18人。発症者との合計は27人で、過去最多だった09年の32人に次ぐ。半面、検査件数は2755件で、09年より501件減少。ピークだった08年の4分の3に落ち込んだ。

県健康対策課の山下十喜専門員は「全国的

昨年の県内

検査件数は2年連続減

エイズ発症者最多9人

県内で2010年に新たに9人がエイズを発症したことが分かった。09年よりも1人増え、過去最多。一方、発症の前段階となるエイズウイルス(HIV)感染の検査件数は2年連続で減っている。県は「発症後に見つかる人が増えているのは問題。感染を早期発見できれば薬で発症を抑えられる」と検査を受けるよう促す。

(衣川圭)

に検査件数が減っている。エイズへの関心の低さが背景にある」と分析する。

これを受け、県や広島市は12日、バレンタインデー(14日)にちなみ、受検促進キャンペーンを開く。午後2時6時に、中区新天地のアリスガーデン一帯で啓発パンフレットやコンドームを配布。近くの林病院(中区三川町)に、予約なしで無料検査できる臨時会場を設ける。県健康対策課 ☎082(513)3175。